



takata04-ifix

取扱説明書

ご使用前に
必ずよくお読みください。
いつでも読めるように、
大切に保管してください。

ご使用になる前に

ご使用の前に必ずお読みいただき、取扱説明書に従い、正しくご使用ください。

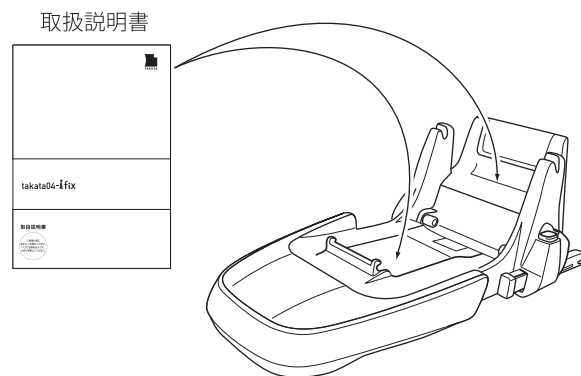
また、いつでも読めるように、大切に保管してください。

このチャイルドシートは、自動車事故などの際に衝撃を緩和することを目的につくられた年少者用補助乗車装置です。

チャイルドシートの確実な取り付けとともに安全運転をお願い申し上げます。



取扱説明書は、ベースのいずれかの場所に入れて保管してください。



当製品は、安全、品質の確保に細心の注意を払って製造・販売しておりますが、万一リコール等がありました場合に、速やかにお客様にご連絡し、修理等をさせていただくため、お客様登録をしていただきたいと思います。

つきましては、WEB での登録もしくは、お客様登録カードに、お名前、ご住所、お電話番号をご記入いただき、弊社お客様登録カード係までお送りいただきたくお願いいたします。

ISOFIX チャイルドシートについて

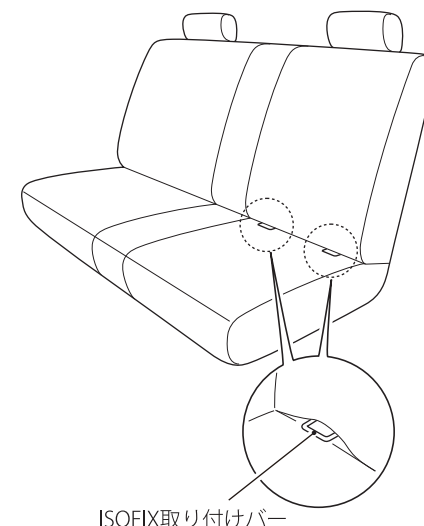
ISOFIX チャイルドシートの仕様

このチャイルドシートはお車の ISOFIX 取り付けバー（取り付け具）に固定して使用します。ご使用の際には必ずお車の取扱説明書を合わせてご確認ください、下記 ISOFIX チャイルドシートに対応しているかを確認してください。

体重	グループ	カテゴリー	サイズ等級	固定具
13kg 未満	0+	セミユニバーサル (準凡用) 型	E	ISO/R1
			D	ISO/R2
			C	ISO/R3
9~18kg	I	セミユニバーサル (準凡用) 型	B	ISO/F2
			B1	ISO/F2X
			A	ISO/F3

ISOFIX 取り付けバー（取り付け具）に関して

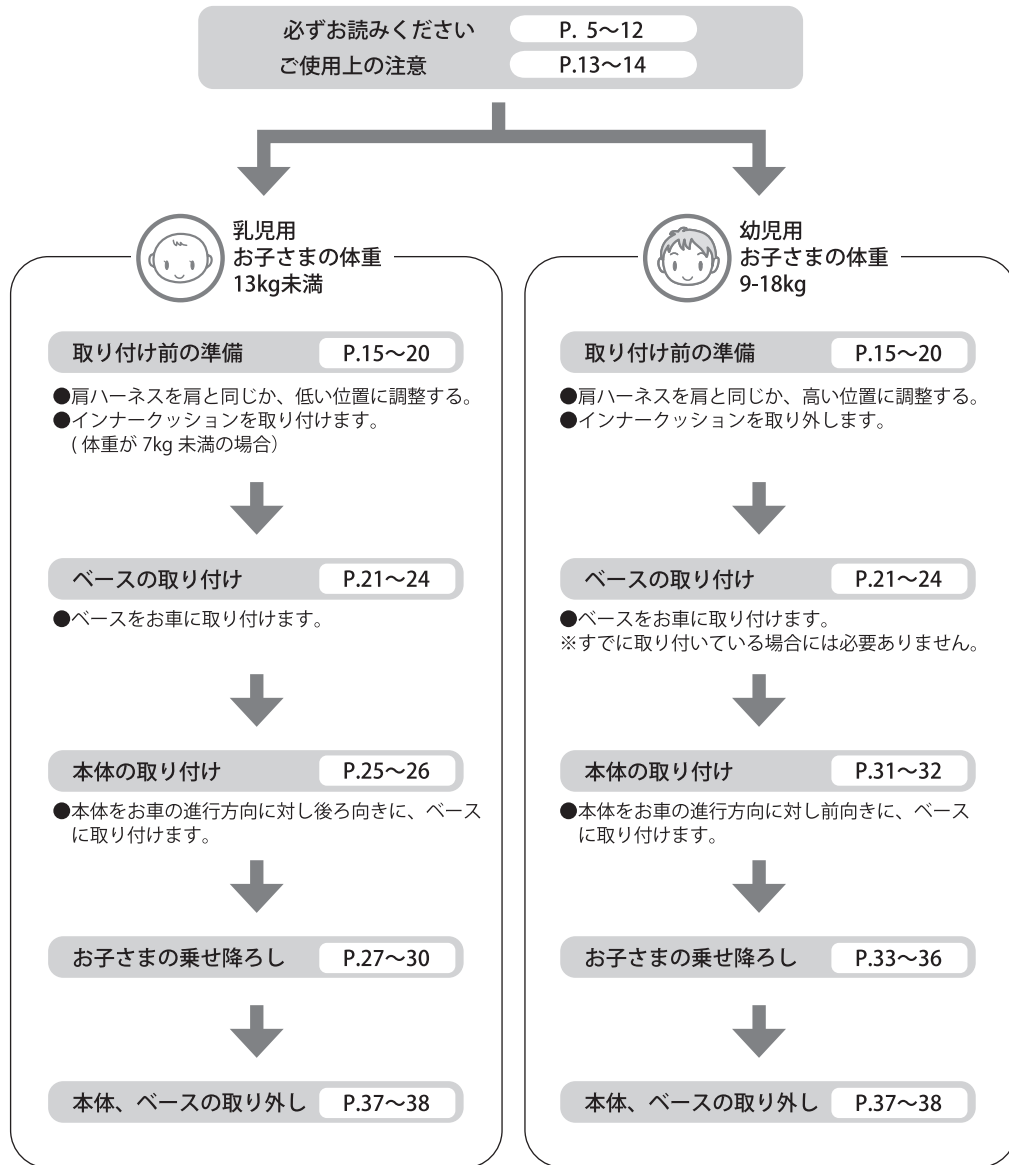
ISOFIX 取り付けバー（取り付け具）とは、ISOFIX チャイルドシートを取り付ける為に、お車のシート背もたれと座部との間に装備された棒状の取り付け具です。詳しくはお車の取扱説明書をご確認ください。



ISOFIX 取り付けバー

⚠ 警告

このチャイルドシートは、お車のシートベルトを使った取り付けはできません。



ご使用になる前に	1
ISOFIXチャイルドシートについて	2
取り付けの流れ	3
必ずお読みください	5
◆マーク表示について	5
◆緊急時には	6
◆各部の名称と梱包内容	7
◆お子さまに合った使いかた	9
◆取り付けできるシート	11
◆取り付けできないシート	12
ご使用上の注意	13
◆お子さまを乗せるときには	13
◆チャイルドシートを取り付けるときには	13
◆こんなことにも注意して	14
取り付け前の準備	15
◆肩ハーネスの高さを確認する	15
◆肩ハーネスの高さを調整する	17
◆インナークッションの取り付け	19
◆インナークッションの取り外し	20
ベースの取り付け	21
◆取り付け方法	21
乳児用として使用する場合(体重13kg未満)	25
◆本体の取り付け方法	25
◆お子さまの座らせかた	27
◆お子さまの降ろしかた	29
幼児用として使用する場合(体重9~18kg)	31
◆本体の取り付け方法	31
◆お子さまの座らせかた	33
◆お子さまの降ろしかた	35
お車からの取り外し	37
◆本体の取り外し	37
◆ベースの取り外し	38
お手入れのしかた	39
◆サイドパネルの取り外し	39
◆シートクッションの取り外し	40
◆シートクッションの取り付け	41
◆サイドパネルの取り付け	41
◆各部のお手入れ	42
補修部品について	43
製品情報	43
保証書	44

マーク表示について

この取扱説明書には、安全にご使用いただくために、特にお守りいただきたいことを、次のマークで表示しています。これらの記載内容は重要ですので、しっかりとお読みください。

⚠ 警告

取り扱いを誤った場合、死亡または重大な傷害を負うおそれが想定される内容を示しています。

⚠ 注意

取り扱いを誤った場合、傷害を負うおそれがある内容、または物的損害の発生が予想される内容を示しています。

🔔 アドバイス

チャイルドシートをご使用になる上で守っていただきたいこと、および知っておくと便利なことを示しています。



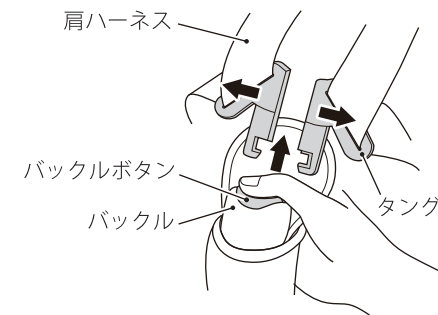
図示されている行為の禁止を示しています。

緊急時には

衝突事故などの緊急時は、あわてず次の手順で速やかにお子さまを救出してください。

1

バックルボタンを押してバックルからタングを外します。

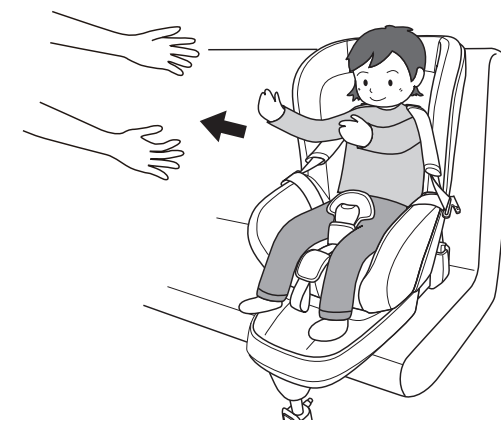


⚠ 注意

可動部分に指や物を挟まないようにしてください。

2

お子さまを静かにチャイルドシートから降ろします。



🔔 アドバイス

バックルボタンを押してもタングが外れない場合は、ハーネスを切断するなどして、お子さまを救出してください。

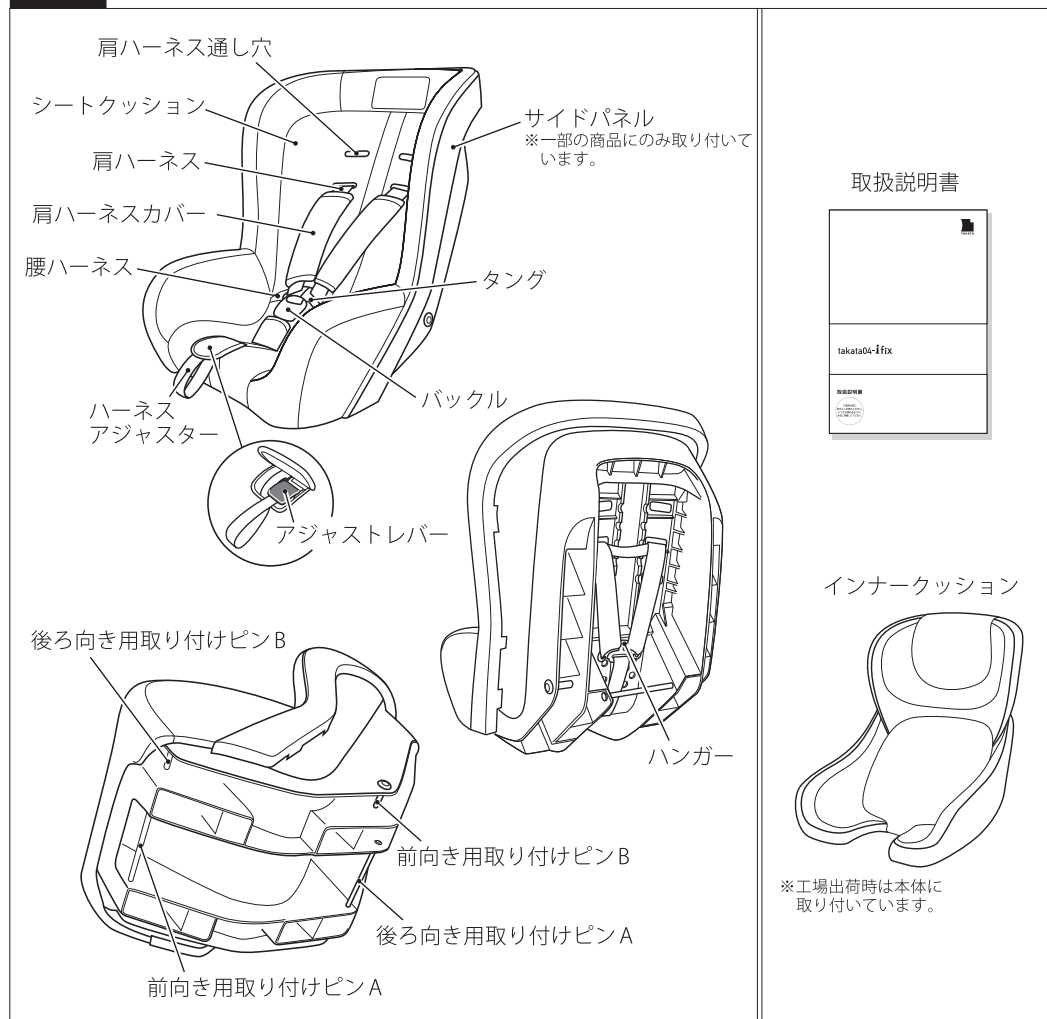
各部の名称と梱包内容

チャイルドシート、ベースと合わせてご確認ください。ご使用になる前に、下記の商品がそろっているか、確認してください。

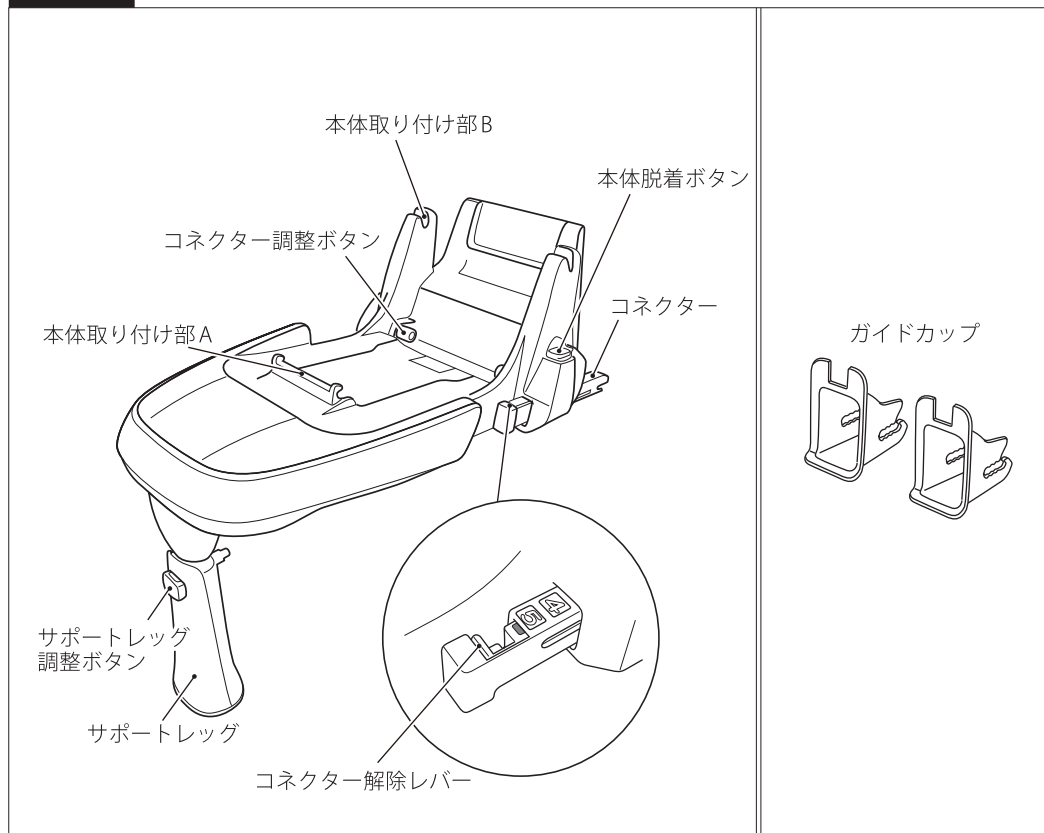
欠品や破損などがございましたら、ご使用にならず、お買い上げの販売店または弊社お客様相談室（0120-70-5441）までご連絡ください。

お問い合わせの際は、スムーズな対応が行えますよう、品番ラベルに記載されている品番を必ずお伝えください。（43ページ）

本体



ベース

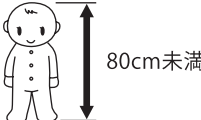
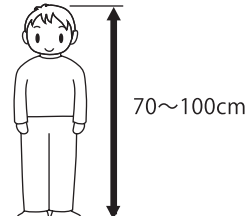
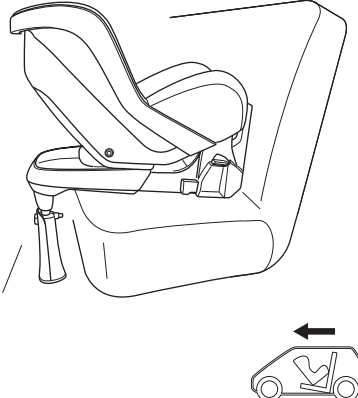
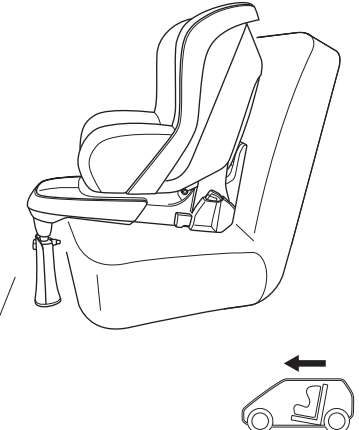


お子さまに合った使いかた

チャイルドシートはお子さまの年齢や体重により、取り付けかたが異なります。ご使用になるお子さまに合った正しい取り扱いを行ってください。

⚠ 警告

お子さまの体重が9kgを超えるまでは前向きで使用しないでください。

体重	13kg未満	9kg～18kg
参考年齢	新生児～1歳半ごろ	9ヶ月～4歳ごろ
参考身長	 <p>80cm未満</p>	 <p>70～100cm</p>
取り付けかた	<p>お車の進行方向に対し、後ろ向きで使用します。</p> 	<p>お車の進行方向に対し、前向きで使用します。</p> 

⚠ アドバイス

年齢、身長の範囲は、おおよその目安ですのでお子さまの体重に合わせてご使用ください。

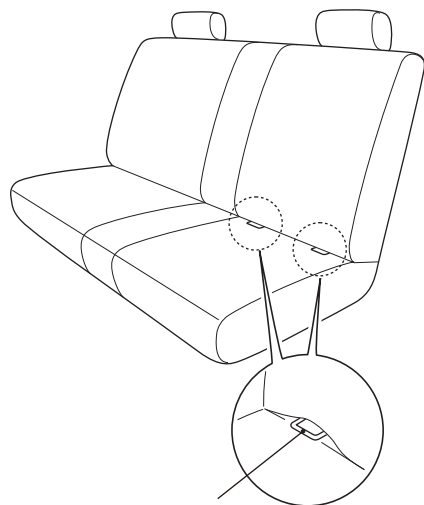
取り付けできるシート

進行方向に対し前向きで、下表に対応した ISOFIX 取り付けバー (ISOFIX 取り付け具) が装備されているお車のシート

ISOFIX 取り付けバー (取り付け具) とは、ISOFIX チャイルドシートを取り付ける為に、お車のシート背もたれと座部との間に装備された棒状の取り付け具です。詳しくはお車の取扱説明書をご確認ください。

△ アドバイス

お取り付けに際しましては、お取り付けになるお車の取扱説明書も合わせてご確認ください。



ISOFIX 取り付けバー

ISOFIX チャイルドシートの仕様

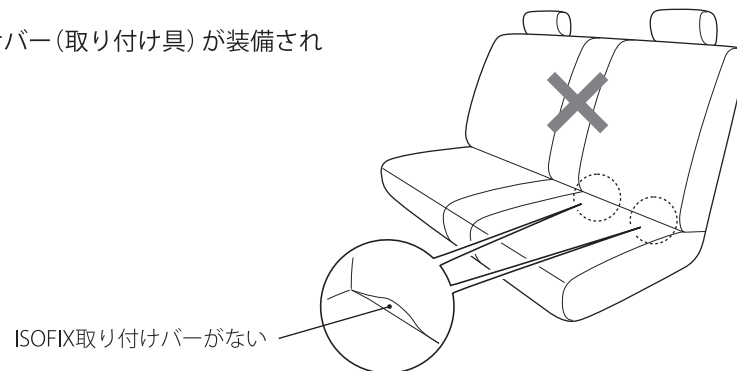
体重	グループ	カテゴリー	サイズ等級	固定具
13kg 未満	0+	セミユニバーサル (準凡用) 型	E	ISO/R1
			D	ISO/R2
			C	ISO/R3
9~18kg	I	セミユニバーサル (準凡用) 型	B	ISO/F2
			B1	ISO/F2X
			A	ISO/F3

取り付けできないシート

△ 警告

お車のシートが下記タイプに該当する場合は、チャイルドシートを取り付ける事ができません。取り付けした場合、事故時にお子様や他の乗員が死亡または重大な傷害を負うおそれがあります。

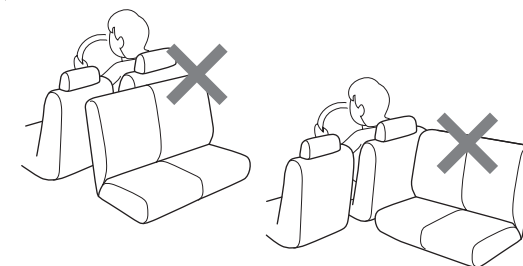
- ISOFIX 取り付けバー (取り付け具) が装備されていないシート



- 前方にエアバッグが装備されたシート



- 横向き・後ろ向きになっているシート







- チャイルドシートを取り付けると運転操作の妨げや、視界の妨げになるシート

ご使用上の注意


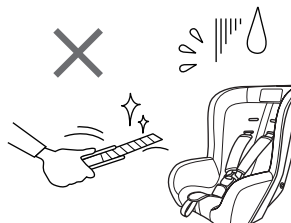

お子さまを乗せるときは

警告

<p>1</p> <p>お子さまだけお車に残した状態でお車から離れないでください。不慮の事故(熱射病やいたずらによる事故等)につながるおそれがあります。</p> 	<p>2</p> <p>走行中は、お子さまをチャイルドシートから乗せ降ろしさせないでください。</p> 
<p>3</p> <p>ハーネスは、緩みやねじれのないようにお子さまの身体にあわせて調整してください。ねじれていると事故のときに重大な傷を負う可能性があります。</p> 	<p>4</p> <p>腰ハーネスで骨盤がしっかりと拘束されるように、必ず腰ハーネスを低く下げて着用させてください。腹部に腰ハーネスがかかっていると、事故等のときに腹部が圧迫され重大な傷を負う可能性があります。</p> 



チャイルドシートを取り付けるときは

警告

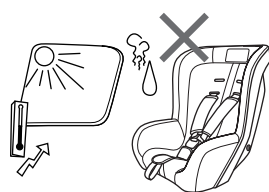
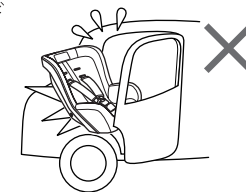

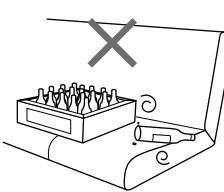
<p>1</p>  <p>チャイルドシートを安全に使用していただくため、柔軟材料(専用カバー類・ハーネス類・発泡材料等)を取り外したり専用部品以外に取り換えて使用しないでください。</p>	<p>2</p>  <p>チャイルドシートのハーネスを刃物等の鋭利なもので傷つけないでください。傷ついているとチャイルドシートが正常な働きをしない場合があります。</p>	<p>3</p>  <p>取扱説明書に記載された以上の分解や構成部品を取り外した状態での使用および指定以外の物との交換は絶対に行わないでください。</p>
---	---	--

こんなことにも注意して

警告

<p>1</p>  <p>事故等で車両に強い衝撃を受けた場合は、チャイルドシートにも目に見えない破損があるおそれが強いので、再使用しないでください。</p>	<p>2</p>  <p>チャイルドシートのロック部分(バックル、コネクタ、ベースの本体取り付け部等)には、精密な部品が組み込まれていますので、水やジュース等をかけないでください。部品の故障原因になります。</p>	<p>3</p>  <p>チャイルドシートを保管する際には、強い衝撃を与えたり、長期間屋外など日光が当たる場所に放置しないでください。</p>
--	---	---

注意

<p>1</p> <p>チャイルドシートに日光が当たると熱くなることがあります。大人が金属部分や樹脂部分に触れて熱さの程度を確認し、お子さまがやけどをするおそれのないことを確認の上、使用してください。</p> 	<p>2</p> <p>可動式シートまたは車両のドアにチャイルドシートの剛性部分(樹脂部分等)が挟まれないようにしてチャイルドシートを取り付けてください。</p> 
<p>3</p> <p>ベースだけを取り付けたまま放置しないでください。突起部分で頭などをぶつける恐れがあります。ベースを車室内に置く場合は、安全のためISOFIX取り付けバーに取り付けたベースにチャイルドシートを固定しておいてください。</p> 	<p>4</p> <p>事故発生時や乗員に傷害を与えるような物をお車の中に放置しないでください。万一のとき、お子さまや乗員に当たるとおそれがあり、危険です。</p> 

取り付け前の準備

肩ハーネスの高さを確認する

お子さまの肩の位置に合わせて、肩ハーネス通し穴の位置を調整することができます。

▲ アドバイス

- ◎ 肩ハーネス通し穴の位置を確認するときは、チャイルドシートを正しい取り付け角度にし、お子さまを座らせた状態で行ってください。
- ◎ お子さまの座らせかたにつきましては、「お子さまの座らせかた」(乳児用：27ページ、幼児用：33ページ)をご参照ください。



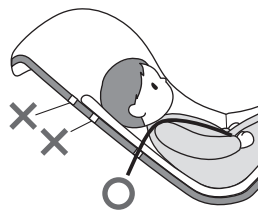
お子さまの体格に合わせてご使用ください。肩ハーネスの位置が合っていない場合は、「肩ハーネスの高さ調整」(17ページ)を参照し、正しい位置に調整してください。

▲ 警告

ハーネス高さは必ず正しい位置でご使用ください。
不適切な位置で使用すると、事故時に重大な傷害を負う可能性があります。

◆ 後ろ向き(体重13kg未満)

一番下の肩ハーネス通し穴を使用してください。(下から1番目のみ)



◆ 前向き(体重9～18kg)

肩ハーネス通し穴がお子さまの肩と同じか、より高い位置穴を使用してください。(上から1、2番目)



1

アジャストレバーを持ち上げながら、肩ハーネスをすべて引き出します。

△ アドバイス

肩ハーネスを引き出す際には肩ハーネスカバーではなく、肩ハーネスを引っ張り、引き出してください。肩ハーネスカバーを引っ張っても、引き出せません。

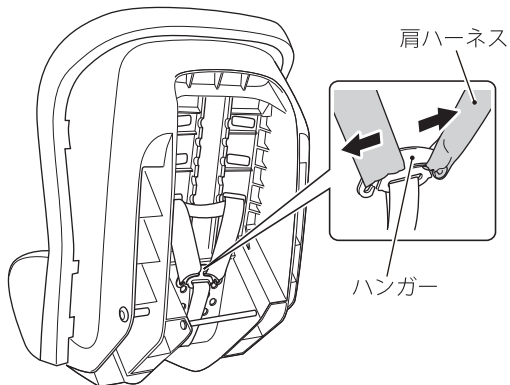


2

本体背面の肩ハーネスをハンガーから外します。

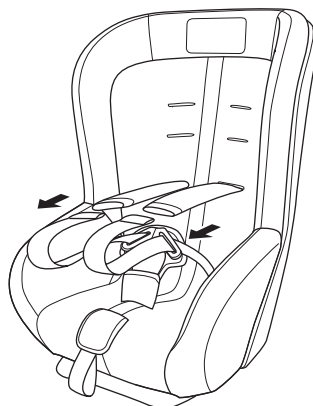
△ 注意

直射日光が当たってハンガーが熱くなることがあります。やけどのおそれがありますので、ご使用时には十分注意してください。



3

肩ハーネス通し穴から、肩ハーネスを引き抜きます。

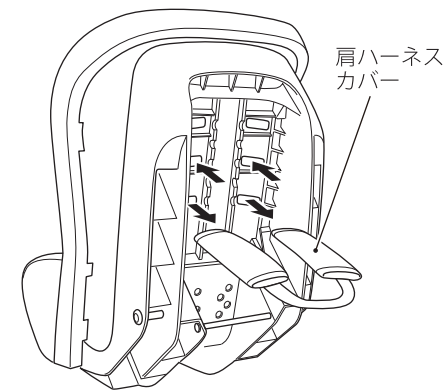
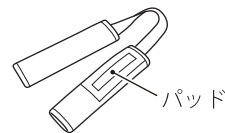


4

肩ハーネスカバーをチャイルドシート背面から引き抜いて、適切なハーネス通し穴に差し替えます。

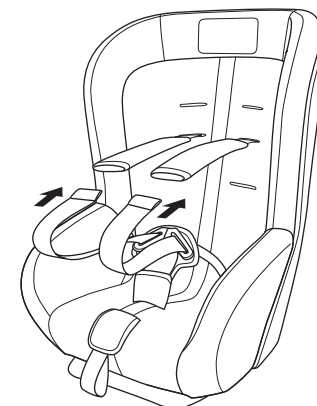
△ アドバイス

肩ハーネスカバーには表裏があります。パッドがある側を裏（お子さまの肩に当たる）側にしてください。



5

肩ハーネスをハーネス通し穴に差し込みます。

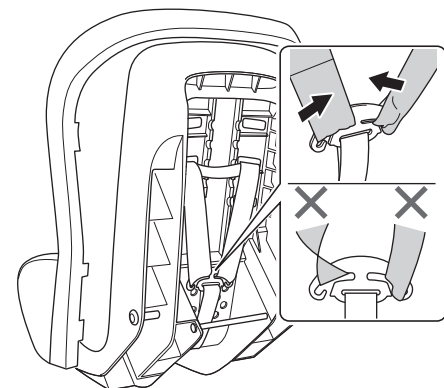


6

肩ハーネスをハンガーに取り付けます。

△ 警告

- ◎ 肩ハーネスがねじれていないことを確認してください。
- ◎ 肩ハーネスをハンガーに正しく取り付けしていないと、衝突時にハーネスが抜け、事故時に重大な傷害を負う可能性があります。



インナークッションの取り付け

※工場出荷時には本体に取り付けています。

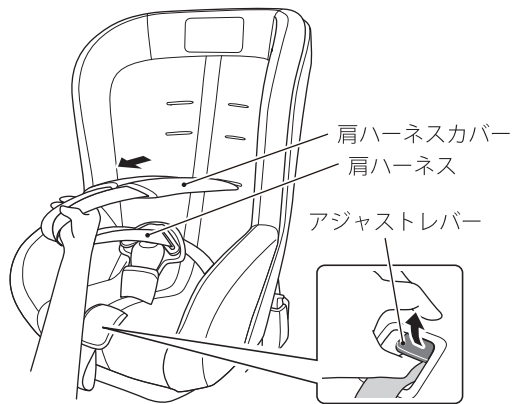
インナークッションは、お子さまの体重が7kg未満(参考年齢6ヶ月未満)の場合にのみご使用になれます。

1

アジャストレバーを持ち上げながら、肩ハーネスを引き出します。

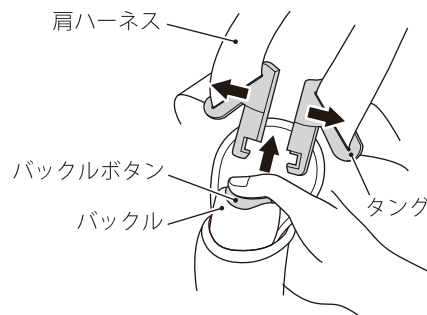
▲アドバイス

肩ハーネスを引き出す際には肩ハーネスカバーではなく、肩ハーネスを引っ張り、引き出してください。肩ハーネスカバーを引っ張っても、引き出せません。



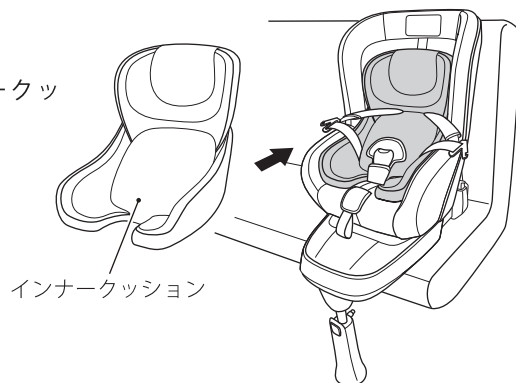
2

バックルボタンを押してバックルからタングを外し、肩ハーネスを左右に広げます。



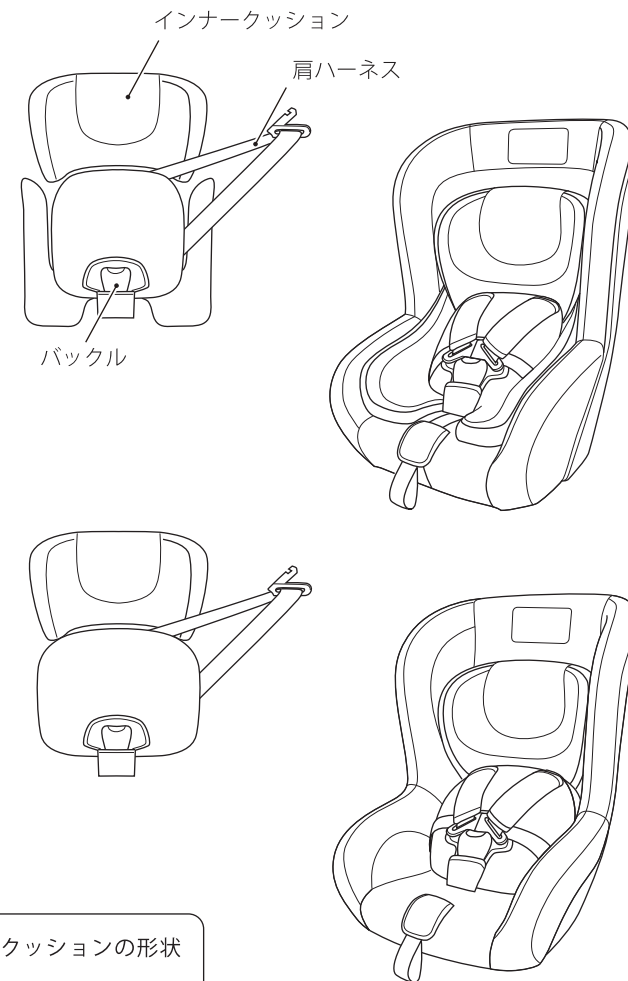
3

チャイルドシート座面にインナークッションを置きます。



4

インナークッションにハーネス、バックルを通します。



▲アドバイス

商品により、インナークッションの形状が若干異なります。

インナークッションの取り外し

「インナークッションの取り付け」と逆の手順で取り外してください。

ベースの取り付け

取り付けイメージ

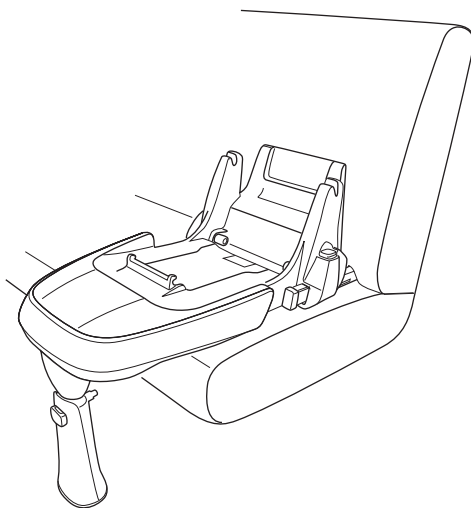
ベースをお車のISOFIXバー（ISOFIX取り付け具）に固定し、サポートレッグが床に着くよう調整します。

⚠ 注意

- ◎取り付けの際には可動部分に指や物を挟まないようにしてください。
- ◎ベースだけを取り付けたまま放置しないでください。突起部分で頭などをぶつける恐れがあります。ベースを車室内に置く場合は、安全のためISOFIX取り付けバーに取り付けたベースにチャイルドシートを固定しておいてください。

⚠ アドバイス

長期間、お車にチャイルドシートを取り付けることにより、シートに跡がつく場合があります。



取り付け方法

1

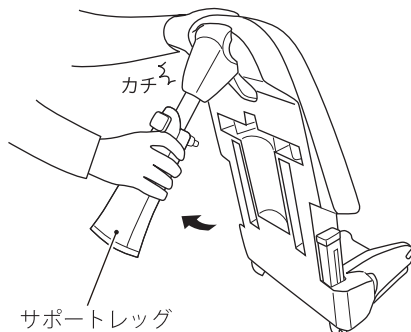
サポートレッグを引き出しロックします。

⚠ 警告

ロックしていないと、事故時に重大な傷害を負う可能性があります。

⚠ 注意

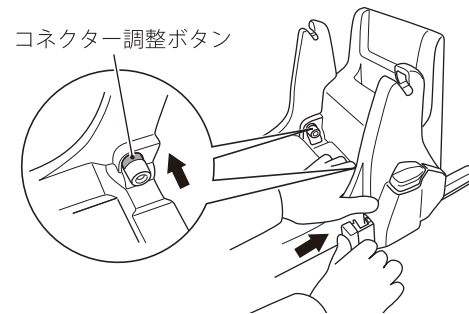
可動部分に指や物を挟まないようにしてください。



2

コネクター調整ボタンを押した状態で、コネクターを全て押し出します。

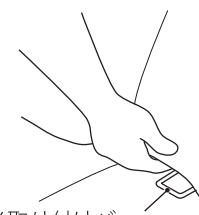
コネクター調整ボタン



3

お車のシート背もたれと座面の隙間を少し広げ、ISOFIX取り付けバー（取り付け具）の位置を確認します。

ISOFIX取り付けバー



4

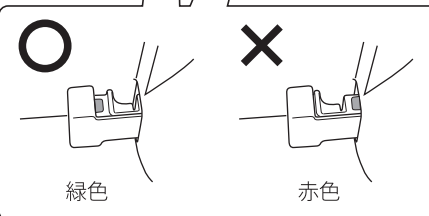
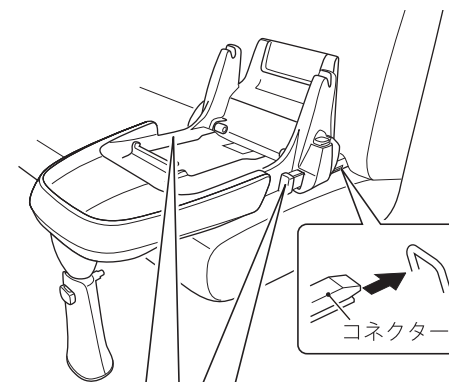
コネクター部をISOFIX取り付けバー（取り付け具）にカチャとロック音がし、両方のインジゲーターの赤色部分が緑色に変わるまで差し込みます。

⚠ 警告

コネクターは必ず正しいロック状態にしてください。正しくロックしていないと事故時に重大な傷害を負う可能性があります。

⚠ アドバイス

取り付けにくい時は、ISOFIX取り付けバー（取り付け具）に付属のガイドカップを差し込み、ご使用ください。



5

両側のコネクター調整ボタンを押しながら、ベースをお車のシートにしっかりと押し付けます。

コネクター調整ボタン



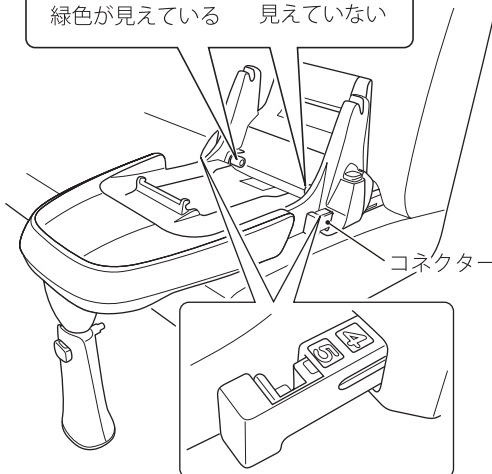
△ アドバイス

お車により、しっかり押さえつけてもベースとシートとの間に隙間が生じる場合があります。シートがリクライニングする場合は、できるだけ隙間が小さくなるよう、リクライニング角度を調整してください。

左右のコネクター調整ボタンがロック位置(緑色のラベルが見える状態)まで戻っていることを確認してください。またコネクターの左右の数字が同じ事を確認してください。



緑色が見えている 見えていない



△ アドバイス

コネクター調整ボタンがロック位置に戻っていない場合(緑色のラベルが見えていない状態)は、ベースを前後にゆらしてロックさせてください。

6

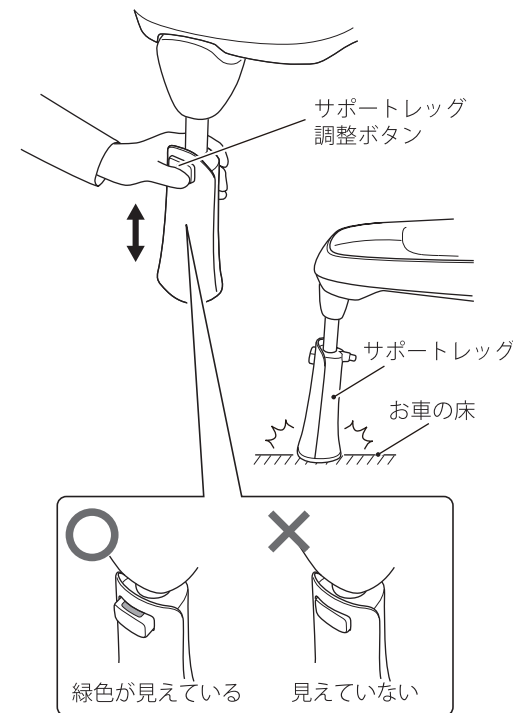
サポートレッグ調整ボタンを押し、サポートレッグの先端が必ずお車の床に接触するように高さを調整してください。また調整後、ボタンの緑色の表示が見えロックしていることを確認してください。

△ 警告

- ◎サポートレッグの先端が必ず床に接触していないと事故時に重大な傷害を負う可能性があります。
- ◎ボタンがロックされていないと事故時に重大な傷害を負う可能性があります。

△ アドバイス

- ◎サポートレッグを床に接触させると、お車のシートとベース底面に少し隙間ができる場合があります。
- ◎事故などの際、強い衝撃を受けると、ロックが解除できなくなることがあります。



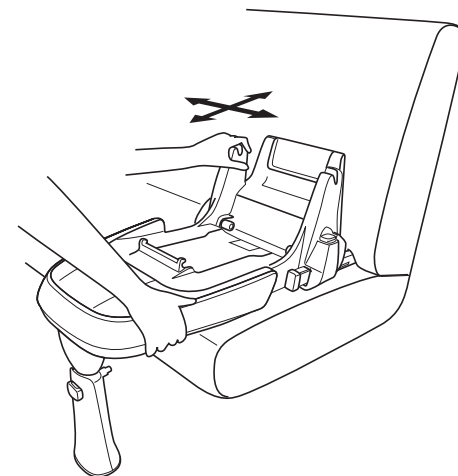
取り付けチェック

ベースがしっかりと取り付けられていることを前後左右にゆらして確認してください。

ぐらつきがある場合は「ベースシートの取り付け(P22)②からやり直してください。

△ アドバイス

ベースの取り外し方はP38を参照ください。



乳児用としてご使用する場合（体重13kg未満）

取り付けイメージ

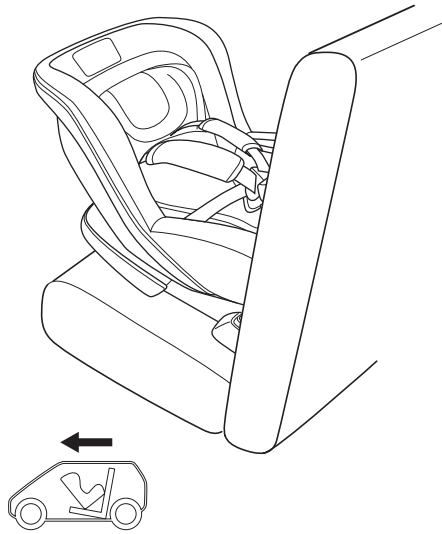
お車の進行方向に対し、後ろ向きになるよう本体をベースに取り付けます。

注意

可動部分に指や物を挟まないようにしてください。

アドバイス

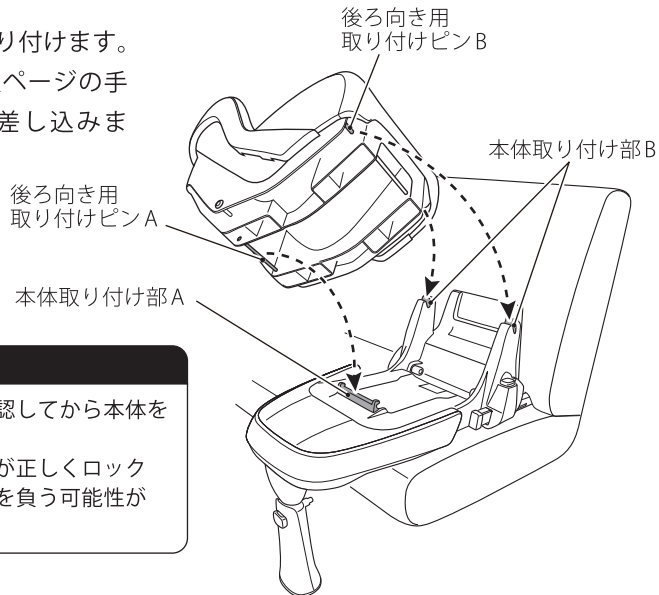
長期間、お車にチャイルドシートを取り付けることにより、シートに跡がつく場合があります。



本体の取り付け方法

1

ベースに本体を後ろ向きに取り付けます。本体底面の3箇所のピンを次ページの手順でベースの取り付け部に差し込みます。



警告

ベースの上に物が無い事を確認してから本体を取り付けてください。ベースの上に物があると本体が正しくロックできず、事故時に重大な傷害を負う可能性があります。

次ページにつづく

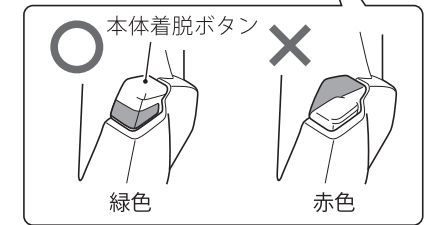
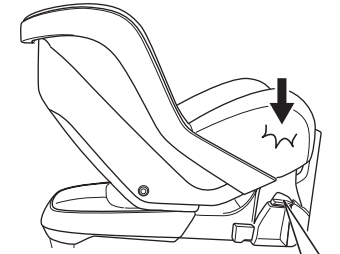
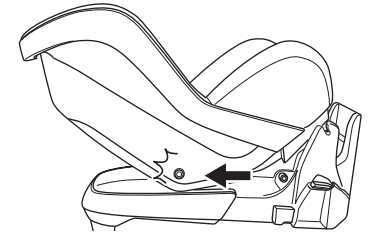
はじめに、本体をベースの上に置き、滑らすようにして本体の「後ろ向き用取り付けピンA」をベースの「本体ロック部A」にロックする。

次に、本体を前端を押し付け、本体の「後ろ向き用取り付けピンB」をベースの「本体ロック部B」にロックする。

正しくロックすると、ベース側面の本体着脱ボタンが上がり、緑色のラベルが見える状態となります。必ず左右両側とも確認してください。

警告

全てのピンが正しくロックしていないと事故時に重大な傷害を負う可能性があります。



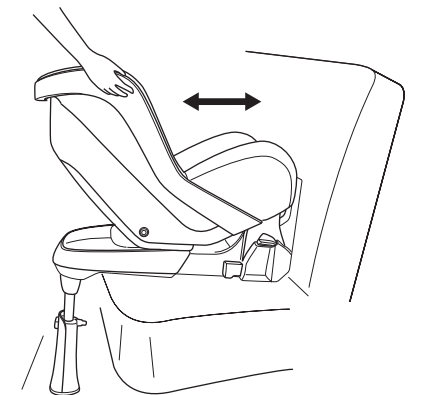
取り付けチェック

本体がベースにしっかりと取り付けられていることを前後左右にゆらして確認してください。

ぐらつきがある場合は「本体の取り付け」(P25)①からやり直してください。

アドバイス

本体の取り外し方はP37を参照ください。

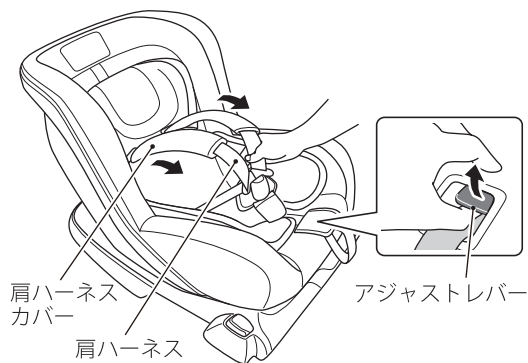


1

アジャストレバーを持ち上げながら、肩ハーネスを引き出します。

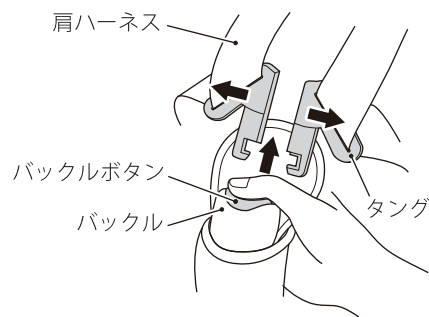
△アドバイス

肩ハーネスを引き出す際には肩ハーネスカバーではなく、肩ハーネスを引っ張り、引き出してください。肩ハーネスカバーを引っ張っても、引き出せません。



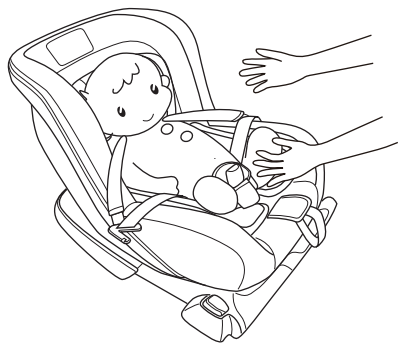
2

バックルボタンを押してバックルからタングを外し、肩ハーネスを左右に広げます。



3

お子さまをシートクッションの上に深く座させます。



4

肩ハーネスをお子さまの肩にかけます。

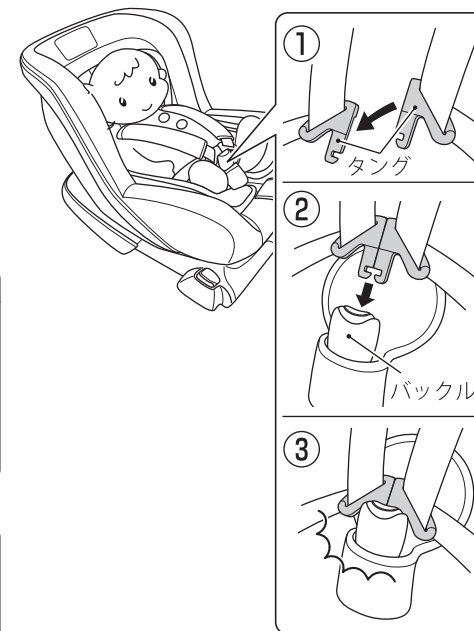
- ① 左右のタングを合わせ、
- ② 合わせたタングをバックルにまっすぐ挿入し、
- ③ 「カチッ」と音がするまで差し込みます。

△警告

タングがバックルに正しく結合されていないと、衝突時や急ブレーキ時などに、お子さまがチャイルドシートから飛び出し、重大な傷害を負う可能性があります。

△アドバイス

タングを引っ張り、タングとバックルが正しく結合されていることを確認してください。



5

肩ハーネスを引っ張り、腰ハーネスのたるみを取ります。

ハーネスアジャスターを引き、お子さまの鎖骨と肩ハーネスに指一本が入る程度まで、肩ハーネスのたるみを取ります。

△警告

ハーネスに緩みやねじれがないようにしてください。ハーネスとお子さまの間に余分なすき間があると、衝突時や急ブレーキ時などに、お子さまがチャイルドシートから飛び出し、重大な傷害を負う可能性があります。



1

アジャストレバーを持ち上げながら、肩ハーネスを引き出します。

⚠️ アドバイス

肩ハーネスを引き出す際には肩ハーネスカバーではなく、肩ハーネスを引っ張り、引き出してください。肩ハーネスカバーを引っ張っても、引き出せません。

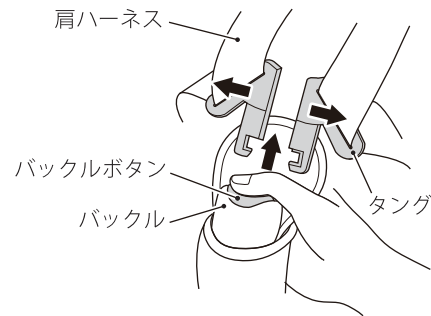


2

バックルボタンを押してバックルからタングを外し、肩ハーネスを左右に広げます。

⚠️ 注意

可動部分に指や物を挟まないようにしてください。

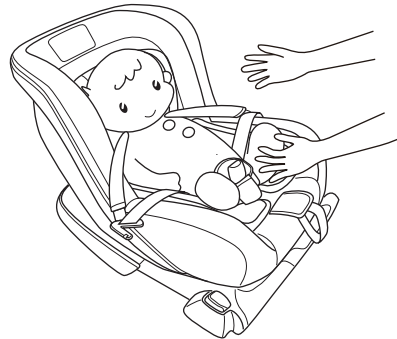


3

お子さまを静かにチャイルドシートから降ろします。

⚠️ アドバイス

緊急時にバックルボタンを押してもタングが外れない場合は、ハーネスを切断するなどしてお子さまを救出してください。



幼児用としてご使用する場合（体重9～18kg）

取り付けイメージ

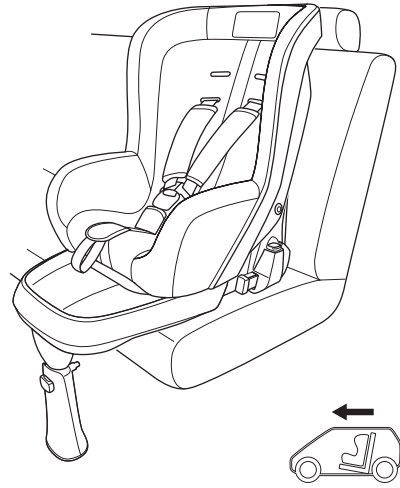
お車の進行方向に対し、前向きになるよう本体をベースに取り付けます。

△ 注意

可動部分に指や物を挟まないようにしてください。

△ アドバイス

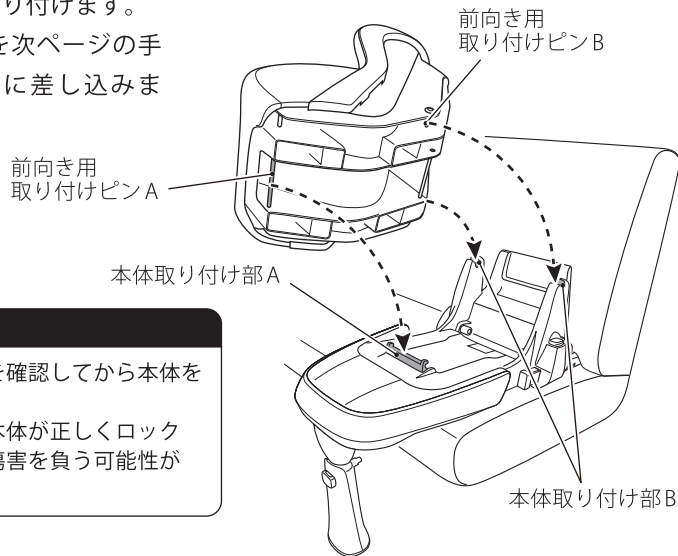
長期間、お車にチャイルドシートを取り付けることにより、シートに跡がつく場合があります。



本体の取り付け方法

1

ベースに本体を前向きに取り付けます。本体底面の3箇所のピンを次ページの手順でベースの取り付け部に差し込みます。



△ 警告

ベースの上に物が無い事を確認してから本体を取り付けてください。ベースの上に物があると本体が正しくロックできず、事故時に重大な傷害を負う可能性があります。

次ページにつづく

はじめに、本体をベースの上に置き、滑らすようにして本体の「前向き用取り付けピンA」をベースの「本体ロック部A」にロックする。

次に、本体を前端を押し付け、本体の「前向き用取り付けピンB」をベースの「本体ロック部B」にロックする。

正しくロックすると、ベース側面の本体着脱ボタンが上がり、緑色のラベルが見える状態となります。必ず左右両側とも確認してください。

△ 警告

全てのピンが正しくロックしていないと事故時に重大な傷害を負う可能性があります。



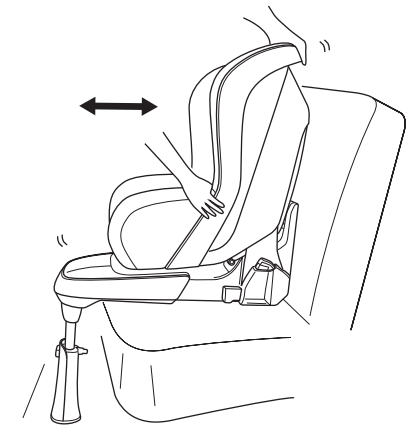
取り付けチェック

本体がベースにしっかりと取り付けられていることを前後左右にゆらして確認してください。

ぐらつきがある場合は「本体の取り付け」(P31)①からやり直してください。

△ アドバイス

本体の取り外し方はP37を参照ください。

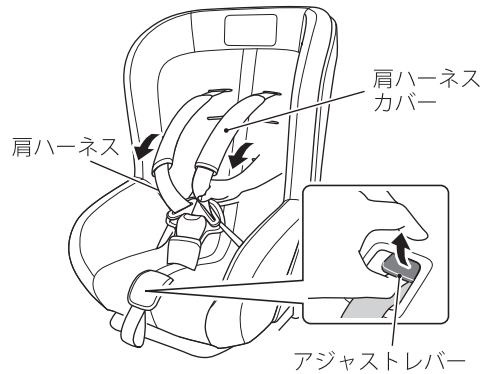


1

アジャストレバーを持ち上げながら、肩ハーネスを引き出します。

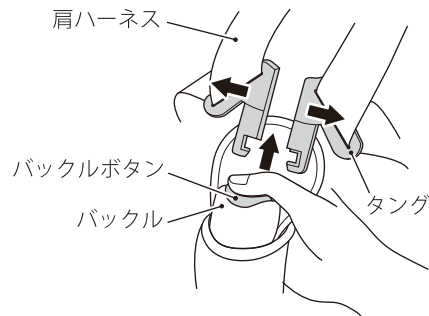
△アドバイス

肩ハーネスを引き出す際には肩ハーネスカバーではなく、肩ハーネスを引っ張り、引き出してください。肩ハーネスカバーを引っ張っても、引き出せません。



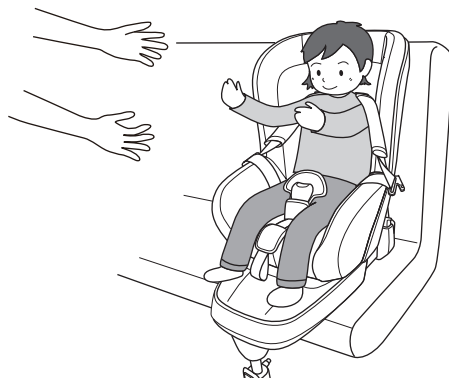
2

バックルボタンを押してバックルからタングを外し、肩ハーネスを左右に広げます。



3

お子さまをシートクッションの上に深く座させます。



4

肩ハーネスをお子さまの肩にかけます。

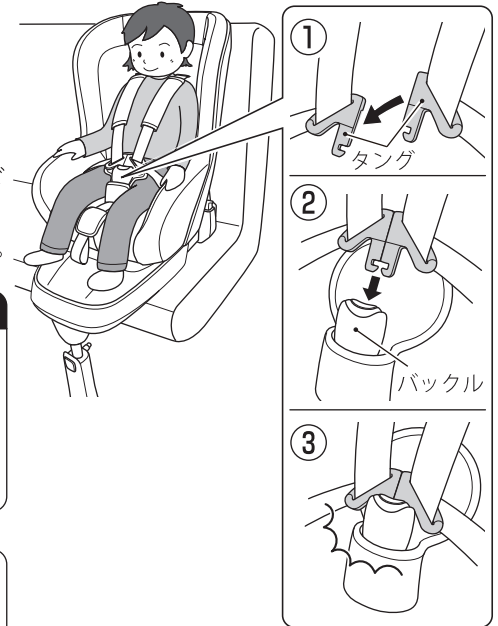
- ① 左右のタングを合わせ、
- ② 合わせたタングをバックルにまっすぐ挿入し、
- ③ 「カチッ」と音がするまで差し込みます。

△警告

タングがバックルに正しく結合されていないと、衝突時や急ブレーキ時などに、お子さまがチャイルドシートから飛び出し、重大な傷害を負う可能性があります。

△アドバイス

タングを引っ張り、タングとバックルが正しく結合されていることを確認してください。



5

肩ハーネスを引っ張り、腰ハーネスのたるみを取ります。

ハーネスアジャスターを引き、お子さまの鎖骨と肩ハーネスに指一本が入る程度まで、肩ハーネスのたるみを取ります。

△警告

ハーネスに緩みやねじれがないようにしてください。ハーネスとお子さまの間に余分なすき間があると、衝突時や急ブレーキ時などに、お子さまがチャイルドシートから飛び出し、重大な傷害を負う可能性があります。



1

アジャストレバーを持ち上げながら、肩ハーネスを引き出します。

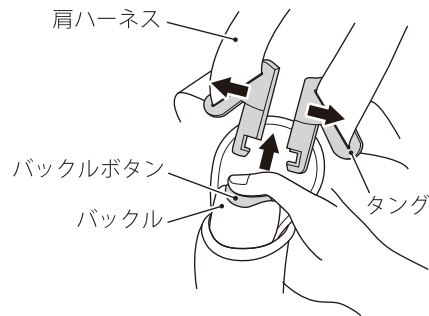


△ アドバイス

肩ハーネスを引き出す際には肩ハーネスカバーではなく、肩ハーネスを引っ張り、引き出してください。肩ハーネスカバーを引っ張っても、引き出せません。

2

バックルボタンを押してバックルからタングを外し、肩ハーネスを左右に広げます。

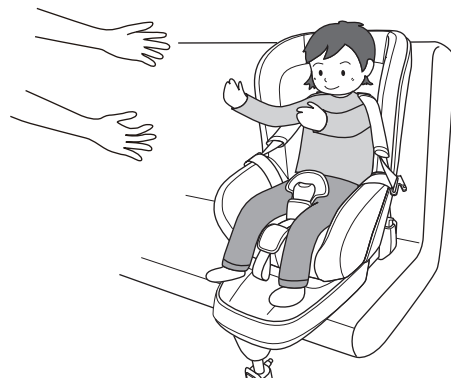


△ 注意

可動部分に指や物を挟まないようにしてください。

3

お子さまを静かにチャイルドシートから降ろします。



△ アドバイス

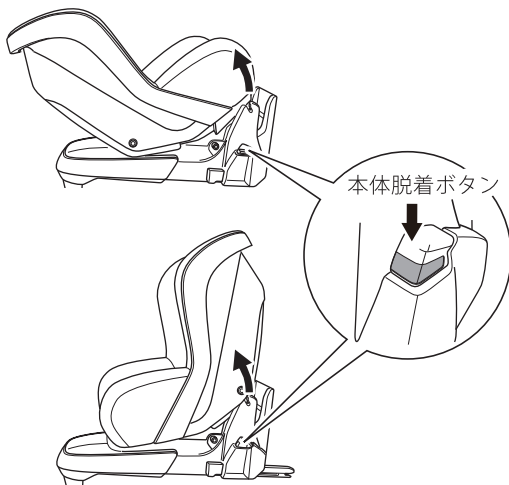
緊急時にバックルボタンを押してもタングが外れない場合は、ハーネスを切断するなどしてお子さまを救出してください。

お車からの取り外し

本体の取り外し

1

本体脱着ボタンを押したまま、ベース後方に取り付いているピンを外します。

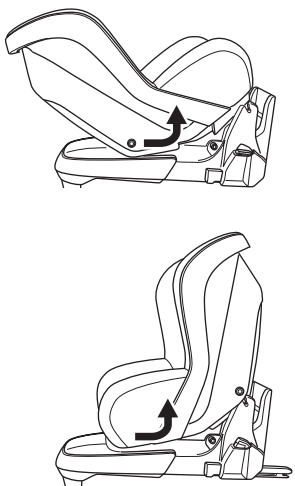


⚠ 注意

可動部分に指や物を挟まないようにしてください。

2

次に、本体をベース後方に少しずらし、上に持ち上げ、ベース前方に取り付いているピンを外します。



ベースの取り外し

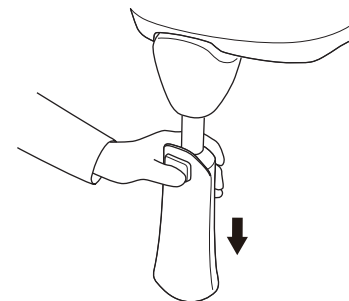
1

両側のコネクター解除レバーを手前に引きロックを解除し、お車のISOFIX 取り付けバー(取り付け具)からベースを取り外します。



2

サポートレッグを一番縮めた状態から、1 段だけ伸ばします。



3

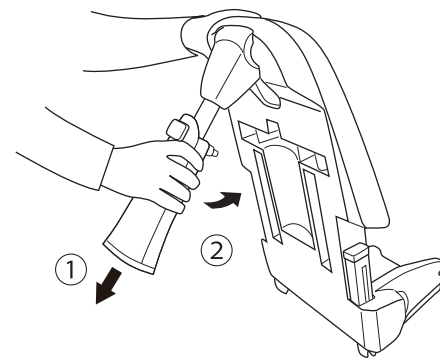
サポートレッグを引っ張りながら、折りたたみます。

⚠ 注意

可動部分に指や物を挟まないようにしてください。

⚠ アドバイス

サポートレッグを引っ張る時にはサポートレッグ調整ボタンを押さないでください。



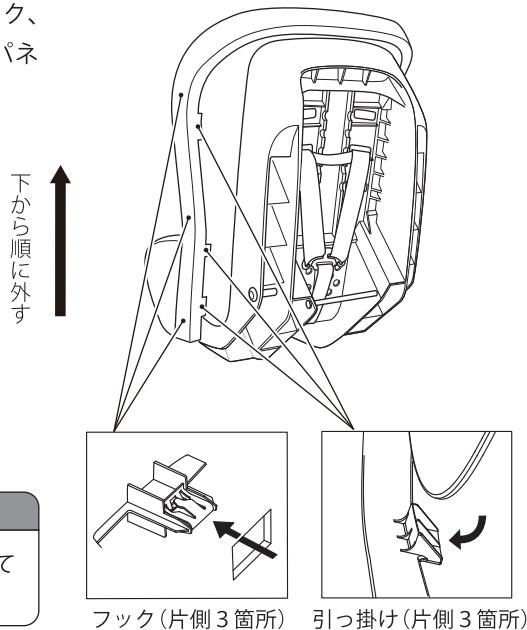
お手入れのしかた

サイドパネルの外しかた

一部の商品には本体側面にサイドパネルが付いています。シートクッションを取り外す場合には、サイドパネルを取り外す必要があります。



片側6箇所(左右計12箇所)のフック、引っ掛けを下から順に外し、サイドパネルを本体から取り外します。



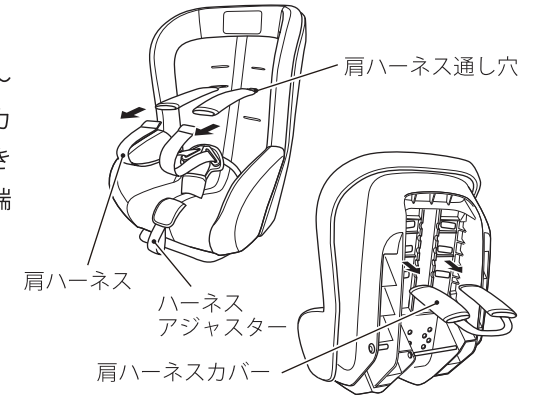
△注意

可動部分に指や物を挟まないようにしてください。

シートクッションの取り外し

1

「肩ハーネスの高さ調整」(P17)の1～4の手順で肩ハーネスと肩ハーネスカバーを肩ハーネス通し穴から引き抜きます。また、ハーネスアジャスター端末のフックを外します。

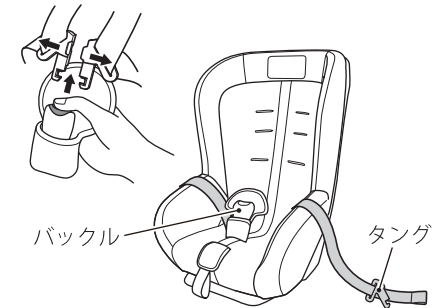


2

バックルボタンを押し、バックルからタングを外します。

△注意

可動部分に指や物を挟まないようにしてください。

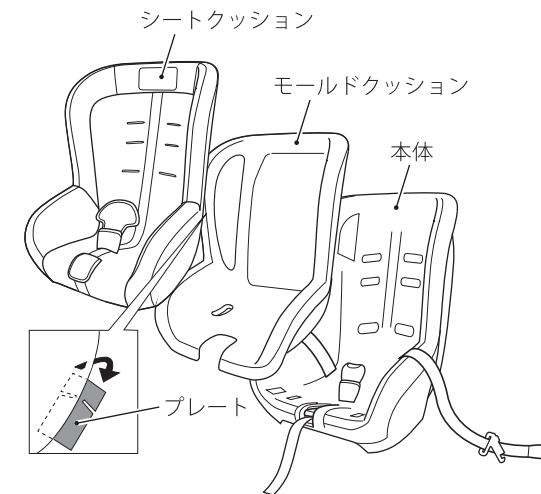


3

シートクッション裏面のプレート本体から外し、シートクッション、モールドクッションを本体から取り外します。

△アドバイス

プレートは数箇所あります。商品により、プレートの位置、形状が異なります。



シートクッションの取り付け

取り外しと逆の手順でシートクッションを取り付けます。

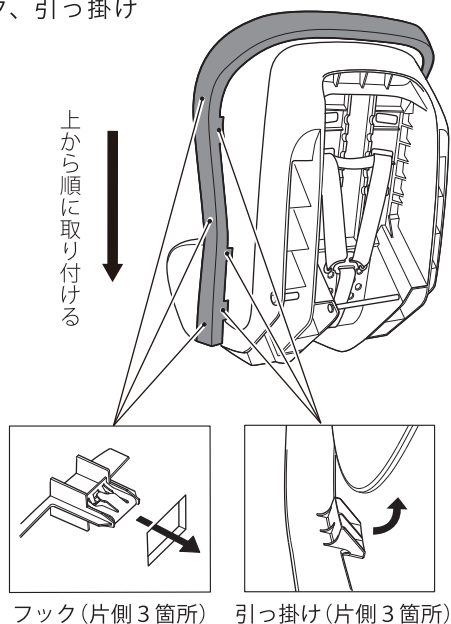
⚠ 警告

専用クッション以外は使用しないでください。
事故時に十分な性能を発揮しない可能性があります。

サイドパネルの取り付け

一部の商品には本体側面にサイドパネルがついています。シートクッションを取り付けた後、サイドパネルを取り付けてください。

片側6箇所(左右12箇所)のフック、引っ掛けを上から順に取り付ける。



⚠ 注意

- ◎取り付けの際には可動部分に指を挟まないようにしてください。
- ◎シートクッション、サイドパネルがズレていたり、本体から浮いていないことを確認してください。
事故時に十分な性能を発揮しなかったり、外れた場合、乗員に当たるおそれがあります。

各部のお手入れ

クッション類

(革を使用していないクッション)
中性洗剤を使用して、手で押し洗いをしてください。



⚠ 注意

- ◎洗濯後は、完全に乾燥させてからご使用ください。
- ◎洗濯機は使用しないでください。崩れや、やぶれることがあります。

(革を使用しているクッション)
乾いた柔らかい布(綿100%)で乾拭きしてください。



本体

シートフレームなどのプラスチック部が汚れた場合は、やわらかい布で乾拭きまたは水拭きしてください。

⚠ 注意

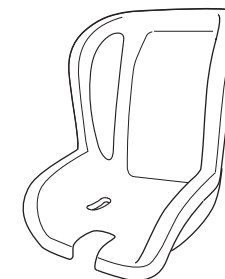
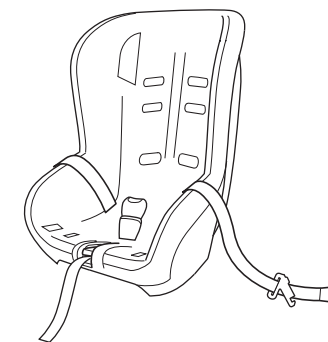
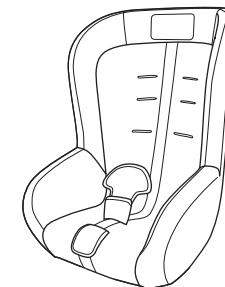
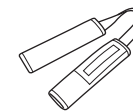
- ◎洗剤類を使用しないでください。変色等のおそれがあります。
- ◎水拭き後は、完全に乾燥させてから使用してください。

モールドクッション

柔らかい布で乾拭きしてください。

⚠ 注意

- ◎洗濯しないでください。



各部のお手入れ

インナークッション

頭と背中に入っているウレタンを背面から取り出し、中性洗剤を使用して、手で押し洗いしてください。取り出したウレタンは、柔らかい布で乾拭きしてください。



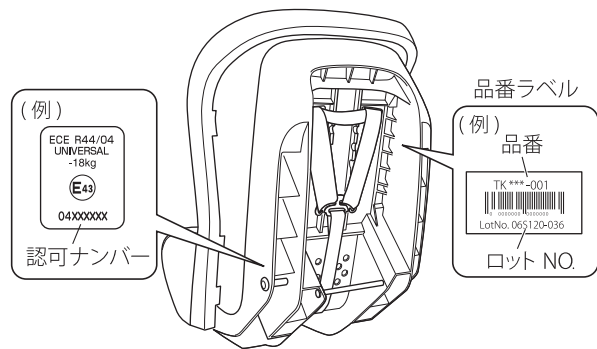
△ 注意

- ◎洗濯後は、完全に乾燥させてからご使用ください。
- ◎洗濯機は使用しないでください。崩れや、やぶれることがあります。
- ◎内部のウレタンは洗濯しないでください。



補修部品について

お買い上げの販売店またはお客様相談室(0120-70-5441)までご連絡ください。お問い合わせの際は、スムーズな対応が行えますよう、チャイルドシート背面に貼っているラベルの品番を必ずお伝えください。もし、背面ラベルが無い場合には、側面にあるラベルに記載されている認可ナンバーをお伝えください。



製品情報

本製品は協定規則第44号に基づき認可されております。



タカタ株式会社

シートベルト・エアバッグ・チャイルドシートの専門メーカー

商品についてのお問い合わせ・お客様相談室

フリーダイヤル



0120-70-5441

受付時間:10時~17時/但し、土日、祝祭日は除きます

〒107-8508 東京都港区赤坂2-12-31